

平成29年度 事業報告書

(単位：百万円)

	事業内容	事業実績等	予算	実績	差異
教学関係	1) 少人数教育の推進	1) 教育の質を高めるために科目や領域の特性を考慮し少人数教育の推進に努めました。	—	—	—
	2) EGAP英語教育支援	2) 外国語教育の基幹の一つであるEnglish for General Academic Purposes (一般学術目的の英語) 支援のため、本学の学習管理システムであるMyDocの保守管理等に努めました。	40.4	41.3	△0.9
	3) 全学的TOEIC® IP試験	3) 入学時の英語力に応じて習熟度別クラスを編成し教育効果の向上を図るとともに、学年末に英語力の測定・検証を行いました。	35.8	23.5	12.3
	4) 国際化・グローバル化の推進	4) 「獨協大学国際化推進委員会」答申等の具現化に向け検討を進め、一部実行に着手しました。海外の協定大学が50校に達しました。	8.6	3.5	5.1
	5) 履修指導の強化・拡充	5) 学外からの履修登録を可能とし、利便性の向上を図りました。	5.4	7.2	△1.8
	6) FD・SD活動の推進	6) 教育・研究の質の保証、職員力の向上を目指し、各種研修を実施しました。	7.5	6.7	0.8
	7) 全学的教育情報システムの在り方の検討	7) 教育情報システムの現状分析と検証を行い、今後の全学的情報システムの構想・導入・運用体制の検討・調査に入りました。	0.1	0	0.1
	8) 教育研究・学修支援体制の強化	8) 教育研究支援センターによる各種教育研究・学修支援に努めました。	171.1	168.9	2.2
学修環境と学生支援	1) アクティブ・ラーニング型学修の促進	1) 教室棟にあるラーニング・コモンズ施設の利用説明会等を実施し、課題発見・解決に向けた主体的・協同的な学修の促進やアクティブ・ラーニング型授業の事例発表等を実施しました。	25.0	0.2	24.8
	2) 奨学金事業	2) 経済的理由により学修継続が困難な学生に対して奨学金給付等の活動を継続しました。	149.0	144.1	4.9
	3) キャリア形成支援	3) キャリアカウンセラーの配置や各種キャリア支援講座の開催等、継続してキャリア形成支援に努めました。	41.0	35.5	5.5
	4) 語学学修環境の支援	4) 各種外国語学習講座の学内開催や、チャットルーム(独、英、仏、西、中、韓)の開設等継続して語学学修の支援に努めました。	10.1	6.1	4.0
	5) 公認会計士養成、法律職対策講座	5) 外部委託機関による講座を継続開設しました。	28.6	18.2	10.4
	6) 学生の食環境の改善	6) 学生センターの軽食チェーン店跡地を改修し、弁当販売スタンドを設置しました。	55.0	5.6	49.4
	7) 事務情報システム改修	7) 事務情報システム(DREAMS)改修に向け準備部会を設置し、改善点の集約に着手しました。	31.0	29.2	1.8
施設・設備関係	1) 創立50周年記念館(西棟)周辺のキャンパスランドスケープ計画	1) 創立50周年記念館(西棟)周辺に北庭を造成するとともに棟間通路を設置しました。	147.8	169.4	△21.6
	2) 5棟解体	2) 創立50周年記念館完成に伴い隣接する5棟(教室棟)を解体しました。	132.8	132.8	0
	3) 特定天井の改修調査	3) 改修の必要性・優先順位等を見極めるため、特定天井の調査を開始しました。	50.0	9.7	40.3
	4) 35周年記念館の空調用自動制御機器の更新	4) 老朽化した空調用自動制御機器を更新しました。	25.5	23.0	2.5
	5) 研究所棟の外壁修繕	5) 経年劣化により外壁補修を行いました。	21.5	23.3	△1.8
	6) 電話交換機の更新	6) 老朽化に伴い電話交換機の更新を行いました。	37.8	27.5	10.3
地域貢献関連等	1) 地域まちづくりに関する連携	1) 「獨協大学前<草加松原>」への駅名改称に伴う寄付金を地域からの要請を受け支出しました。草加市・UR都市機構等との定例会合を開催し、まちづくり連携を継続しました。	270.3	218.1	52.2
	2) 「地域と子どもリーガルサービスセンター」の運営	2) 同センターによる地域の子どものに関する相談業務等を継続実施しました。	14.1	14.1	0
	3) 生涯学習の促進	3) 地域住民の学習意欲に対応したオープンカレッジ各種講座(161講座)を開設しました。	85.0	86.0	△1.0
	4) 市民向けシンポジウムの実施	4) 主に研究所による市民を対象とするシンポジウム等開催しました。	9.8	6.1	3.7
地球温暖化防止に向けた環境対策	1) 省エネルギー、省CO ₂ 対策	1) 構内外灯・人工芝グラウンドの夜間照明のLED化等、省エネルギー、省CO ₂ に努めました。	7.1	7.8	△0.7
	2) 環境報告書の作成	2) 大学の省エネルギー、省CO ₂ 活動に関する『獨協大学環境報告書2017』を発行しました。	1.6	1.5	0.1
	3) 認証プリンタの利用枚数の上限設定	3) 認証プリンタの印刷枚数の上限設定により、紙資源保護、経費節減に努めました。	1.4	0.4	1.0
	4) 省エネ推進活動	4) 省エネキャンペーン、省エネパネル展等による啓発活動に努めました。	0.3	0.1	0.2
その他	1) 入試の広報展開、インターネット出願等	1) 受験生への積極的情報発信及び利便性に配慮したインターネット出願の実施等、更なる改善を図りました。	103.0	90.0	13.0
	2) 安否確認サービスの導入	2) 災害時の教職員の緊急連絡のため「安否確認サービス」を導入しました。	0.9	0.5	0.4
	3) サイバーリスク保険への加入	3) サイバー攻撃による事故発生に備え保険に加入しました。	1.6	1.5	0.1

主な用語について

●学生生徒納付金 授業料、入学金、施設設備費、その他の実習費等

●手数料 入学検定料、証明手数料等

●補助金 国や地方公共団体等からの補助金

●雑収入 他のいづれの収入科目にも該当しないもの(本学では主に退職金財団からの交付金等)

●人件費 専任の教員、職員、及び非常勤の教員、臨時職員に支給される給与、賞与、各種手当、並びに健康保険、年金、労働保険などの大学負担分(所定福利費)と、退職給与引当金繰入額の総額

●教育研究経費 教育研究に直接要する経費の他、教育研究を補助するための事務費、学生厚生に要する経費、入学試験の経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額

●管理経費 大学を運営する総務、人事、経理、対外的な広報活動に要する経費、教育研究に当たらない事業に要する経費、及びこれらの諸活動を行う施設設備を維持する経費、並びにその減価償却額の総額

●基本金組入 学校会計では、学校の基礎となる資産、将来計画のための資産、基金(奨学基金等)として継続的に保持する資産、恒常的安定経営のための資金の4項目を基本金として確保し、事業活動収入のうちから組入れるように規定している。

●基本金組入前当年度収支差額 単年度における事業活動全体の収支差額(バランス)を見ることが出来る。

平成30年度事業計画のポイント

「新たな価値の創出に向けて」

■ 今年度の主な取り組みをお知らせします。

2018年度は、これまで本学が進めてきたキャンパス再編事業により整備した施設設備を最大限に活用し、「魅力ある大学・特色ある大学」づくりを着実に実行します。学内の英知と資源を結集し、引き続き教育研究水準の更なる向上と、学修環境の整備に取り組んでまいります。

2018年度の主要事業計画

学修環境の整備

- CAL教室機器等の更新
- 教育研究・学修支援体制の強化
- 6棟AV機器等の更新

マルチメディアを活用した外国語授業を展開するCAL教室のAV機器・什器を更新します。さらに、教育研究支援センターによる、授業をはじめとする各種教育・研究支援に注力します。

外国語教育の強化

- 全学的TOEIC®IP試験の実施

入学時の英語力に応じた習熟度別クラス編成による教育効果の測定・検証を実施します。

国際化・グローバル化の推進

- 「獨協大学国際化推進委員会」答申等の具現化

国際交流センターをはじめとする国際化推進拠点をICZ (International Communication Zone) 周辺に移設集約するための準備を進めます。

学生支援の充実

- 奨学金事業
- キャリア形成支援

経済的理由による修学が困難な学生への学業維持支援に努めます。「キャリア形成支援」では、キャリアカウンセラーの配置や各種キャリア支援講座を開催し、学生の就職活動を支援していきます。



今年度の主要重点項目

- 1 学修環境の整備
- 2 外国語教育の強化
- 3 国際化・グローバル化の推進
- 4 学生支援の充実
- 5 入試の戦略的展開
- 6 広報の積極的展開
- 7 社会(地域)連携の推進
- 8 施設設備の計画的維持管理
- 9 適正な人員計画と人件費管理
- 10 財政基盤の強化(外部資金獲得)
- 11 その他

入試の戦略的展開

- インターネット出願の拡充

受験生への積極的な情報発信、及び受験生への利便性を配慮したインターネット出願等の情報インフラ整備に努めます。

社会(地域)連携の推進

- オープンカレッジ(公開講座)事業

地域住民の学習意欲に対応したオープンカレッジ各種講座を開設します。

施設・設備の計画的維持管理

- 中央棟設備の更新
- 特定天井(吊り天井)の改修
- 既存施設設備メンテナンスの強化

中長期的な計画に基づく施設設備の維持管理を行います。

その他

- 「次期事務情報システム」プロジェクト
- 情報セキュリティの強化

平成30年度 主要事業計画書

(単位：百万円)

	事業名	事業内容	予算
学修環境の整備	1) 教育研究・学修支援体制の強化	1) 教育研究支援センターによる、授業を始めとする各種教育・研究支援	170.7
	2) CAL教室機器等の更新	2) マルチメディアを活用した外国語授業を展開するCAL教室のAV機器・什器の更新	234.7
	3) 6棟AV機器等の更新	3) 6棟AV機器等の更新	160.0
	4) 図書館開館時間の繰上げ	4) 学生からの要望に応えた開館時間の繰上げ(8:45 ⇒ 8:30)	0.6
外国語教育の強化	1) EGAP英語教育支援	1) 外国語教育の基幹の一つであるEnglish for General Academic Purposes (一般学術目的の英語)の更なる改善(新英語学習システムの導入)	7.7
	2) 全学的TOEIC® IP試験の実施	2) 入学時の英語力に応じた習熟度別クラス編成による教育効果の測定・検証	26.3
	3) 留学後の語学運用能力の検証	3) 留学から帰国した学生及び受入外国人学生を対象とした検定試験の実施	1.0
グローバル化の推進	1) 「獨協大学国際化推進委員会」答申等の具現化	1) 国際交流センターをはじめとする国際化推進拠点をICZ(International Communication Zone)周辺に移設集約するための準備、実施	10.0
学生支援の充実	1) 奨学金事業	1) 経済的理由により修学が困難な学生への学業維持支援	155.6
	2) キャリア形成支援	2) キャリアカウンセラーの配置や各種キャリア支援講座の開催	40.7
	3) 資格取得支援(公認会計士養成、法律職対策講座、各種語学講座他)	3) 専門職を目指す学生対象の資格取得支援講座及び語学を含む各種講座の開設	25.2
	4) 学生の食環境の改善	4) 「教育環境改善アンケート」の意見を踏まえた、学生の食環境改善	4.4
戦略的入試の展開	1) 入学前教育の全学的実施(11月入試入学予定者対象)	1) 11月入試入学予定者に対する入学前教育の実施	18.7
	2) インターネット出願の拡充	2) 一般入試のインターネット出願を11月入試にも拡大	24.6
	3) 入試広報用動画制作	3) ビジュアル性を重視した入試広報用の動画制作	3.2
積極的広報の展開	1) 駅名改称後の新たな広報(交通広告)展開の検証	1) 駅名が「獨協大学前(草加松原)」に改称されたことによる広報効果の検証	—
	2) ホームページの充実	2) 魅力ある大学・特色ある大学として、英語版を含むホームページの見直し	9.2
社会(地域)連携の推進	1) オープンカレッジ(公開講座)事業	1) 地域住民の学習意欲に対応したオープンカレッジ各種講座の開設	83.9
	2) 市民向けシンポジウムの開催	2) 主に研究所による地域住民を対象とするシンポジウム等の開催	9.5
	3) 「地域と子どもリーガルサービスセンター」の運営	3) 同センターによる地域住民の子どもに関する相談対応他	14.7
計画的施設設備の維持管理	1) 既存施設設備メンテナンス強化	1) 中長期的な計画に基づく施設設備の維持管理	184.4
	2) 特定天井(吊り天井)の改修	2) 東棟をはじめとする特定天井の調査、改修	99.6
	3) 中央棟設備の更新	3) 経年劣化による受電設備他更新、研究室ゾーンの熱交換器ファンコイルユニット(FCU)の機能向上	330.0
	4) 省エネルギー、省CO ₂ 対策	4) 屋内外照明のLED化他	25.0
適正な人員計画と人件費管理	1) 人事委員会による計画的な人員管理	1) 人件費の適正化を図るための管理	—
	2) 新たな業務体制と職員の適正な配置	2) 新たな業務に対応する組織体制と職員の適正な配置の検討	—
	3) 雇用形態多様化の検討	3) 業務委託等外部の活用、雇用形態の多様化への検討	—
(外部資金獲得) 財政基盤の強化	1) 奨学基金寄付金募集事業	1) 奨学基金充実のための寄付金募集事業	1.1
	2) 補助金(特別補助)獲得に向けた施策	2) 特別補助金獲得に向けての検討	—
	3) 堅実な資産運用	3) 安全堅実な金融資産の運用	—
	4) 施設の外部貸出の拡大	4) 外部への施設貸出の拡大	—
その他	1) 情報セキュリティの強化	1) サイバー攻撃や情報漏えい等、多様化する脅威への防御策強化	57.7
	2) 「次期事務情報システム」プロジェクト	2) 基本OSのサポート終了に伴う次期事務情報システムの更新準備	200.0
	3) SD活動の推進	3) 大学の教育力向上に向けた各種研修会等への参加	2.0
	4) 教職員定期健康診断の充実	4) 教職員の定期健康診断検査項目の追加	3.2